

## 第5回環境再生ワーキンググループ会議 議事要旨

- 日 時：平成19年12月18日（月）17：00～18：50
- 場 所：役場第2会議室
- 参加者：中村忠充、畠山嘉昭、柳田慶一、釜淵嘉内、椛本重幸、蹴揚清見、宮村清隆、坂下文明、月館勝男、坂上實、宮村純吉、畠山勉、澤口博二、久慈正良 計14名（順不同、敬称略）
- 配付資料：・これまでの経緯など  
・「青森・岩手県境不法投棄現場の環境再生について」（第20回青森県協議会資料より）

---

■ これまで環境再生ワーキンググループリーダーであった伊藤委員が、協議会委員を辞退したことにより、今回の会議は臨時的に中村忠充副リーダーが司会進行を務める。

■ 配付資料について事務局より説明後、各委員から一言ずつ意見を述べていただいた。その発言内容要旨は以下のとおり。

### (1) 青森・岩手両県に対する意見・要望

- ・青森県の原状回復の基本方針にあるとおり、「住民のコンセンサス」が重視されなければならない。今後もこの方針が揺らぐことのないよう強く求める。
- ・「住民のコンセンサス」について、青森県協議会の田子町住民代表委員以外の委員からも、地元住民のコンセンサスの重要性を協議会の場で発言してもらえよう協力要請してほしい。
- ・撤去完了確認としての、廃棄物の有無または汚染土壌の確認方法について、これらが的確でなければ結果的には全量撤去とは言い難い。確実な方法、手順で臨むように要望してきたが、今後も要望していただきたい。また住民代表及び町職員の立ち会いのもとで撤去完了確認がなされるよう要望。
- ・青森県協議会の町民代表委員の増員について再度要望。また、住民代表委員の代理出席も認めるよう要望したい。
- ・不法投棄現場内の一部と水亦部落では、携帯電話が通じないエリアがある。緊急連絡体制の整備という点からも、これらのエリアでも通話ができるよう、青森・岩手両県合同で対応を検討してほしい。

### (2) 田子町及び当協議会に対する意見・要望

- ・会議を開催するのであれば、必ず次第を作成すること。
- ・青森県協議会の開催前にこうした会議を開催し、県の協議会でメインの議題となる案件について事前に審議し、この会議としての統一見解を得た上で、住民代表委員となっている方々に青森県協議会に出席し伝えてもらいたい。
- ・青森県協議会でのこれまでの町長の発言内容を見る限り、町協議会の本来の役割が希薄になったのではないかと感じられる。この協議会の影響力がなくなってしまった。
- ・町議会からの推薦委員には、いずれかのワーキンググループに所属していただくよう要望。
- ・定期的に（2～3ヶ月に一度）不法投棄現場の視察会を開催することの提案。現場の「臭い」は実際に現場に行ってみないことには分からない。臭いには法的基準がなく、数値だけでは判断できない。

### ■ 次回会議について

次回会議の開催に関する意見・要望は以下のとおり。

- ・新たなグループリーダーの選任。
- ・次回開催される青森県協議会の前に会議を開催してほしい。
- ・町議会推薦委員の、ワーキンググループへの所属と次回会議への出席要請。
- ・可能な限り町長は出席すること。
- ・不法投棄現場の南側隣接牧野問題の対応については事務局に一任する。

---

■ 次回開催予定：平成20年2月中旬（2月23日開催予定の青森県協議会前に開催）